

西吾野 高畑川ボルダー

2017.2.21 rctK

以前、北川の奥でボルダリングをした際、A 岩をちょっとトライしたことがあったが、BC 岩は道路の直ぐ横に見えたものの、谷底にあり苔やブッシュに覆われ、さらに濡れてもいたため登ってみたいという意欲が全く湧かなかった。

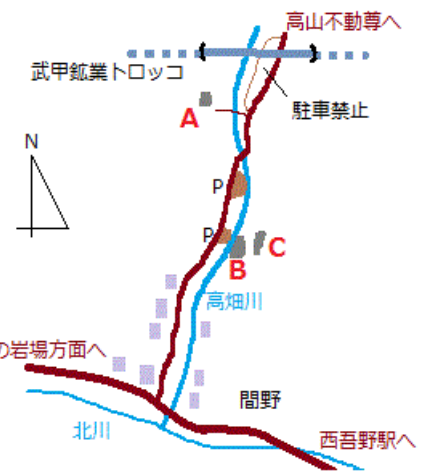
今回私用で近くを通った際、気になり覗いてみたところ、冬期のためきれいに乾いている上に、日差しも入り込んで明るく、イメージが一変していた。多分雨の後や、夏季はなかなか乾かないのかもしれないが、車を降りて至近距離にあり、駐車も問題なさそうなので、北川の岩場のついでにでも覗いてみていただきたい。

高さは6から8m程、岩質はチャートで硬いがまだ脆い部分もある。BC 岩はハイボルダーで一部を除き下地があまり良くないので、トップロープの岩場としたが、当然安全面に配慮してボルダーとしてトライしてもらっても構わない。

アクセスおよびアプローチは、国道 299 から西吾野駅方面に右折し、北川の岩場方面に進む。間野で 2 つ目の橋(高畑川)を渡ると、右から高山不動尊・大滝への道が入ってくるので右折する。最後の民家を過ぎて僅か行ったところに B 岩と C 岩があるので直ぐにわかる。A 岩はさらに進んで橋を渡ると、その先に上を武甲鉱業のトロッコが走っているの、その駐車場のフェンス手前を川に下り対岸を登った所にある。道路からボルダーが見える。駐車スペースは、BC 岩の横とその先の橋手前に何台か停められるが、A 岩もこの 2 ヶ所のどちらかに置いて行った方が良い。

なお最近、この高畑川沿いは、自治会長さんを中心に流木がきれいに片付けられ、毎日地元の方々が不法投棄を監視するため巡回をされている。私もこのエリアを登るにあたってゴミの回収をしたりし、会長さんと言葉を交わしたが、会長さんから禁止という話は今のところない。岩場のトライについては、現状は黙認状態という感じであるが、もし地元の方々と顔を合わせることがあったら、挨拶は必ずしていただきたい。

なお、トライする場合は、足場に流木を使用した場合は、増水しても流れていかない位置まで必ず片付けてもらいたい。また、川の石ころは土砂流失防止のため、勝手に移動しないようにこの話があった。



《課題紹介》

●A 岩

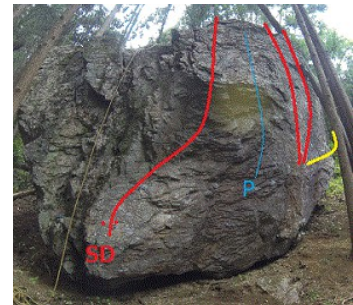
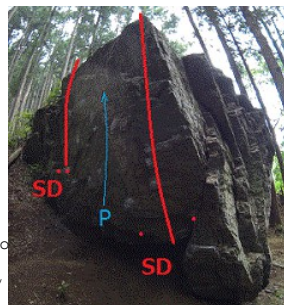
左:南面ハング 右:東面フェイス

このボルダーは、トロッコの手前の林道から高畑川の 対岸の杉林の中に見える。

ハイボルダーだが、下地は良いので、さほどの緊張感はない。まだ脆い部分があるので、心配なら上からロープで降りて確認してもらいたい。

南面ハングの中央ラインはまだ未解決で登れていない。

東面フェイスでは、右寄りの垂直フェイスの課題がそこそこ面白い。



●B岩

左:西面 中央:南面 右:東面

この岩は川の真ん中にある岩峰状の岩で林道から目立って良く見える。

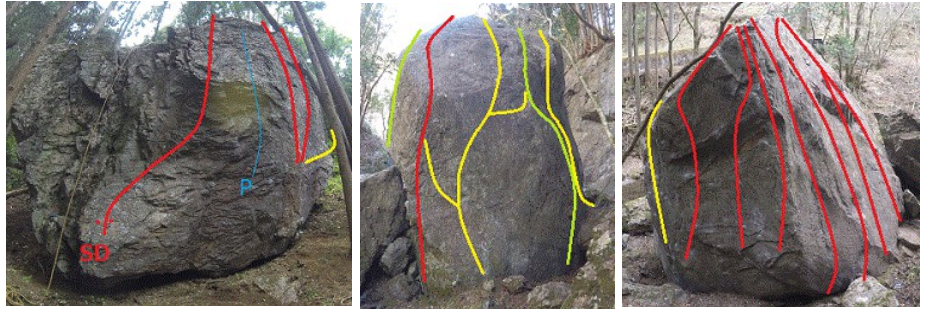
岩上に2ヶ所アンカーを設置したので寄りかかった木も利用して、スリングを使い適当にトップロープを設置していただきたい。なお

岩上のアンカーまでは上流側から適当にロープ無しで登るが、転落には十分注意していただきたい。

西面は、非常に脆い部分が多かったが、大分落としたので安定した。赤ラインがお奨めだが、まだ脆いところが多い。

南面は、細かなフェイスで自分なりにラインを変えて登れば面白い。(5.10+~5.11+程度?)

東面はスラブでカンテをは挟んで何本かラインがある、カンテの左側はフェイス的、右側はスラブ登りである。取り付けは水が流れておりあまり良くない。



●C岩

左:北面ボルダー 右:川側フェイス

川側のフェイスは、左が傾斜のない易しいフェイス。右が垂直のフェイスで、一番右のライン(5.11+程度?)がムーヴが多彩で面白い。

取り付け自体は悪くないが、横は水が流れており、ぶら下がった時に水で濡れてしまう可能性があるのでビレイには配慮したい。

北面ボルダーについては、左のSDスタートはカンテのホールドは使用せず、上の斜めのガバを取る。

